

# 令和6年度 千葉市立葛城中学校 学校評価アンケート集計結果と今後の改善について（報告）

## 1 生徒のアンケート結果から

項目10「学校の決まりやマナーを守る」、19「いじめの定義を理解し、他者を傷つけないように行動する」、22「交通ルールや交通マナーを守って行動する」の評価が高いことから、規範意識が高い生徒が多いと考えられます。また、12「生徒会活動（委員会活動）に進んで参加する」、13「学校行事や学年行事に進んで参加する」も高く、それが1「学校生活が充実している」を高めている一つの要因と考えられます。

一方で、4「(授業で)自分の意見や考えを発表する」、9「予習・復習など家庭学習に取り組む」が低く、自分の思いや考えを表現することや家庭学習への取組が課題となっています。また、24「将来の職業や自己の進路について考える」、25「将来の夢や目標をもって学校生活を送る」も低く、将来への見通しがもてないことも課題です。来年度は、本校の研究主題でもある表現力の育成、キャリア教育の充実に注力していきたいと考えます。

## 2 保護者の学校関係者評価結果から

生徒のアンケート同様に、11「学校の決まりを理解して学校生活を送る」、18「交通ルールやマナーを守って生活する」の評価が高く、規範意識の高さがうかがわれます。一方で、学習に関する項目は総じて低い結果となり、特に4「自ら進んで家庭学習に取り組む」、5「学校での学習内容を理解する」ことに課題が見られます。今後わかる授業の推進をすべく、研鑽を積んでいきたいと考えます。また、昨年度と比較し学校行事の内容や実施時期、充実感が低くなりました。生徒にとってよりよい内容・時期を検討していきたいと思えます。

多くの項目で保護者の評価と生徒の評価が一致しているのは、家庭で生徒と保護者が学校の話をしているということを表していると考えられます。今後も、学校だよりや学年だより、すぐるなどを通じて学校の様子を発信していきたいと考えます。

## 3 職員アンケートの結果から

今年度より生徒指導部会と教育相談部会を分離させ、週一回の定例会議を実施することにより、きめ細かな対応ができるようになりました。このことは、項目9-1～9-6の評価に表れています。また、生徒理解のための日常の観察、アンケートによる情報収集、家庭との連携などに努めています。一方で、学力向上アクションプランに基づいた学習指導(5-2)、学校行事の精選(11-6)、小・中連携(17-5)については低い自己評価となっており課題です。

この職員アンケートを受けて、本校では11月から次年度へ向けた対策会議を行っています。また、制服検討委員会や校則検討委員会など特設の委員会を立ち上げ、多くの先生が学校運営に主体的に携わるようになってきました。現在本校では、これらの会議や委員会を通じて、より良い学校運営ができるよう改善案について協議を重ねています。